

## 昨年&今年と2回目 JCTIC (マレーシア：コタキナバル)

～現地の美味しいものを堪能～

藤崎秀昭 (埼玉県さいたま市)

滞在期間：2019年1月21日～4月15日 (85日間)

活動場所：マレーシアコタキナバル (KK) JCTIC

私は昨年に引き続き今年も、JCTIC で日本語ボランティア活動をさせて頂きました。昨年の内容は2018年冬号で報告させて頂いているので、今回はダブりのないように報告します。

### 1. JCTICでの活動

JCTICでのWSCの担当時間は、平日(月～金)の夕方5:50からの90分と7:30からの90分の1日2コマの担当です。今回は事情により土曜日(120分)も担当しました。私ともう1人、入澤さん(4月に入って天沼さんに交代)の2人で平日の火木コースと土曜コースを担当しました。



土曜クラス

土曜クラスは中級の授業で教科書として「中級へ行こう」(ス

リーエー・ネットワーク)を使っています。授業は1週間に1日だけなので、授業以外の日も日本語に触れる時間を増やすために、種々の参考書から問題練習を宿題として出し、勉強の材料として活用しました。

平日クラスは初級の授業で、教科書は「みんなの日本語」を使っています。これは「初級1と初級2」の2冊からなっており、それぞれ25課で合計50課です。平日コースは1週間に2日または3日なので、全部を終了するには1年半から2年かかります。1人の先生が3か月間担当したとしても7、8人の先生が交代することになります。教える方のボランティアの先生は、継続性に気を配り、気合を入れてしっかりやるのが大切と感じました。

滞在中に「日本語スピーチコンテスト」がありました。

JCTICからも3名が参加し、他にはサ



日本語スピーチコンテスト

バ州立大学の学生、専門学校生など合計13名の出場でした。残念ながらJCTICの学生の入賞はありませんでしたが、日本人と同じくらいの流暢さで話す学生もいました。

この催しには“日本語パートナーズ”の人たちも運営に参加していました。JF(国際交流基金)から日本語指導のために各国に派遣されている人たちで、KKには、現在4人が来ていて中・高の4つの学校で日本語授業のアシスタントをしているとのことでした。KKでは一部の学校で選択科目として日本語が取り入れられているというのが実情だとのことでした。

### 2. コンドミニアムでの生活

宿舎はJCTICから歩いて10分位のところにあるコンドミニアムのマリナーコートで、11Fにある3LDKの部屋(現地在住の氏原氏所有)で、個室1つを1人が使用するシェア・ルームです。付帯設備もジム、プール、サウナ、スカッシュルームなど色々あります。インターネット環境はWIFIが使える、TVはNHK Worldプレミアムがみられました。

私の食事ですが、朝食は自炊で、昼食と夕食は外食することがほとんどでした。今回は2回目の滞在ということもあって、ずいぶん色々な美味しいものを堪能できました。中華料理はもちろん、マレーシア料理のサテイー(焼き鳥)、バクテー(煮込み)はなかなか美味しかったです。現地のレストランではなかなか飲めないビールも堪能できました。



バクテー

また、この南国では果物が大変に豊富で、かつ美味でした。マンゴー、パパイヤ、パイナップル、バナナ、ドリアン、ドラゴンフルーツ、挙げれば切りがありません。



現地の日本人とのテニス

### 3. 余暇・観光

現地在住の方とテニスを楽しみました。コートは会員制のものでしたが、会員の方の知り合いの方を通じて利用させてもらいました。昼は暑いので夕方からナイトを楽しみました。

ここでは移動の足としてGrab (grab) という配車サービスが活躍しています。日本でいう「白タク」ですが、東南アジアでは広く普及し、公認されています。インターネットで車の所有者及び利用する人が登録し、利用する時はスマホでアプリを開いて使うというものです。おおざっぱに言って、タクシーの3分の1くらいの値段です。

JCTICでは授業を担当する充実感があり、日常生活においても美味しい食事、スポーツの楽しみ、観光の楽しみに満ちた所と感じています。